



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年2月4日

上場会社名 株式会社テクノメディカ 上場取引所 東
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫 (TEL) 045 (948) 1961
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	4,652	3.7	674	△4.8	677	△4.8	433	△0.9
22年3月期第3四半期	4,486	△3.9	708	△18.8	711	△18.8	437	△14.5

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第3四半期	14,854	97	—	—
22年3月期第3四半期	14,991	76	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年3月期第3四半期	9,276		7,719		83.2		264,357	31
22年3月期	10,072		7,507		74.5		257,102	35

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 7,719百万円 22年3月期 7,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	7,600	00
23年3月期	—	—	0	00	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	5,100	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,225	16.6	1,644	29.4	1,647	29.3	978	24.7	33,493	15

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	29,200株	22年3月期	29,200株
23年3月期3Q	一株	22年3月期	一株
23年3月期3Q	29,200株	22年3月期3Q	29,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれており、経済情勢・競合状況・為替・金利の変動等に係わるリスクや不安定要因により、実際の業績が予想数値と大きく異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料] P. 3「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産実績	10
(2) 受注状況	10
(3) 販売実績	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、企業業績は改善がみられるものの、円高基調となった為替相場の企業収益への影響や海外景気の悪化懸念など、景気の足踏み状態となり、先行き不透明な状況が続きました。

国内医療業界においては、平成22年4月1日からの診療報酬改定で10年ぶりのネットプラス改訂「全体改定率は+0.19%（約700億円）」があったものの、後発品のある先発医薬品の追加引下げで捻出される600億円の財源が診療報酬以外に使用されることなどから、実質は「+0.03%以下のプラス改定」となっており、医療機関の経営環境は、厳しい状況にあります。

このような経営環境の中で、当社では当事業年度の営業施策として、採血管準備装置の更新時期を迎える施設での更新需要を確実に捕捉すること、また、血液ガス分析装置においては、前事業年度第4四半期に市場投入した最新機種「GASTAT-1800シリーズ」及び「GASTAT-navi」を中心に販路拡大を継続してまいりました。また海外市場においては、採血管準備装置をはじめとする各種装置の販路開拓を継続してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,652,680千円（前年同累計期間比3.7%増加）となりました。

国内市場の当第3四半期累計期間売上は前年同累計期間比6.0%増加、会計期間比では、前年同期比で0.7%の微増となりました。海外市場においては採血管準備装置の販路拡大が第1、第2四半期に引き続き成果を上げておりますが、前年同累計期間の血液ガス分析装置の大型案件の反動減を吸収するには至らず、海外売上高は512,183千円（前年同累計期間比12.1%減少）となりました。また、当第3四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は、前年同累計期間比で2.0ポイント減少し11.0%となりました。利益面に関しては、売上総利益は、2,285,523千円（前年同累計期間比8.3%増加）、研究開発費を大幅に増加（前年同累計期間比52.7%増加）させたことから営業利益は674,723千円（前年同累計期間比4.8%減少）、経常利益は677,211千円（前年同累計期間比4.8%減少）、四半期純利益は433,764千円（前年同累計期間比0.9%減少）となりました。

< 品目別の販売状況 >

・採血管準備装置

当第3四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は1,672,661千円（前年同累計期間比13.0%増加）となりました。

国内市場は、第1四半期で好調だったものの、医療機関の中長期的なコスト削減の影響を受け、第2四半期以降伸び悩み、国内市場の売上高は1,399,513千円（前年同累計期間比2.4%増加）となりました。

一方、海外市場においては、アジアを中心に堅調に推移し、売上高は273,148千円（前年同累計期間比159,514千円増加）と順調に推移いたしました。

・検体検査装置

当第3四半期累計期間における検体検査装置の売上高は383,351千円（前年同累計期間比27.2%減少）となりました。

競合他社との競争が続く国内市場においては、前事業年度第4四半期に販売を開始した新型血液ガス分析装置「GASTAT-1800シリーズ」及び「GASTAT-navi」の販売活動を積極的に展開しておりますが、円高の影響により海外メーカー製品との競争において苦戦を強いられており、売上高は288,845千円（前年同累計期間比15.6%増加）となりました。

海外市場においては、円高の影響、及び前年同累計期間には中南米地域での血液ガス分析装置の大型案件があった反動から売上は94,505千円（前年同累計期間比65.9%減少）となりました。

・消耗品等

当第3四半期累計期間における消耗品等の売上高は2,433,246千円（前年同累計期間比5.4%増加）となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計納入台数の増加に伴い2,288,717千円（前年同累計期間比8.2%増加）となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、前年同累計期間にあった中南米地域での血液ガス分析装置用消耗品の反動から、144,529千円（前年同累計期間比24.8%減少）となりました。

・その他

当第3四半期累計期間における、その他の売上高は、163,419千円（前年同累計期間比5.2%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産の残高は9,276,385千円となり、前事業年度末比796,248千円減少しました。これは主に、売掛金の回収が進んだこと等により売上債権が1,276,278千円減少したことによるものであります。

当第3四半期末の負債の残高は1,557,151千円となり、前事業年度末比1,008,093千円減少しました。これは主に、製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が653,178千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が205,747千円減少したことによるものであります。

当第3四半期末の純資産の残高は7,719,233千円となり前事業年度末比211,844千円増加しました。これは利益剰余金が増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は83.2%となり、前事業年度末比8.7ポイント上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は2,495,887千円となり、前事業年度末比213,103千円の増加となりました。

営業活動の結果568,838千円の資金増加となりました。これは主に、税引前四半期純利益675,034千円を計上、売上債権の回収が進んだことにより売上債権の減少額1,276,278千円、仕入債務の減少額653,178千円、法人税等の支払額420,450千円があったことによるものであります。

投資活動の結果95,328千円の資金減少となりました。これは主に、定期預金の預入による支出81,909千円があったことによるものであります。

財務活動の結果260,405千円の資金減少となりました。これは、配当金の支払額222,005千円および長期借入金の返済による支出38,400千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日付の平成22年3月期決算短信で発表した平成23年3月期通期業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積もりを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益および経常利益が288千円減少し、税引前四半期純利益が2,408千円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,991,214	3,696,200
受取手形	831,106	714,577
売掛金	1,528,061	2,959,023
商品及び製品	1,065,095	918,766
仕掛品	171,779	69,744
原材料及び貯蔵品	62,637	48,571
前払費用	10,512	6,916
繰延税金資産	32,435	50,730
未収消費税等	2,674	—
その他	848	404
貸倒引当金	△34,200	—
流動資産合計	7,662,164	8,464,936
固定資産		
有形固定資産		
建物	852,411	851,857
減価償却累計額	△347,400	△323,256
建物（純額）	505,010	528,601
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	△2,678	△2,528
構築物（純額）	1,399	1,549
工具、器具及び備品	54,196	47,986
減価償却累計額	△37,037	△31,232
工具、器具及び備品（純額）	17,158	16,753
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	1,310,895	1,334,231
無形固定資産		
特許権	4,217	4,725
商標権	1,516	1,666
ソフトウェア	1,847	1,449
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	8,759	9,019
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
破産更生債権等	38,155	—
繰延税金資産	137,796	138,289
保険積立金	91,095	86,962
差入保証金	31,455	31,684
貸倒引当金	△11,446	—

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
投資その他の資産合計	294,565	264,446
固定資産合計	1,614,220	1,607,697
資産合計	9,276,385	10,072,633
負債の部		
流動負債		
買掛金	910,724	1,563,903
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	6,400	44,800
未払金	78,971	136,641
未払法人税等	17,966	223,714
未払消費税等	—	27,816
未払費用	45,435	41,532
預り金	15,190	7,431
賞与引当金	36,000	70,000
その他	2,629	2,830
流動負債合計	1,213,318	2,218,669
固定負債		
役員退職慰労引当金	191,705	181,205
製品保証引当金	143,364	156,672
受入保証金	8,762	8,697
固定負債合計	343,832	346,575
負債合計	1,557,151	2,565,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	5,681,507	5,469,662
株主資本合計	7,719,233	7,507,388
純資産合計	7,719,233	7,507,388
負債純資産合計	9,276,385	10,072,633

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	4,486,989	4,652,680
売上原価	2,376,345	2,367,156
売上総利益	2,110,643	2,285,523
販売費及び一般管理費	1,401,669	1,610,800
営業利益	708,974	674,723
営業外収益		
受取利息	4,211	2,749
その他	555	886
営業外収益合計	4,766	3,635
営業外費用		
支払利息	2,036	1,147
営業外費用合計	2,036	1,147
経常利益	711,704	677,211
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,120
固定資産除却損	—	57
特別損失合計	—	2,177
税引前四半期純利益	711,704	675,034
法人税、住民税及び事業税	233,939	222,481
法人税等調整額	40,006	18,788
法人税等合計	273,945	241,269
四半期純利益	437,759	433,764

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,228,697	1,259,054
売上原価	627,847	647,688
売上総利益	600,849	611,365
販売費及び一般管理費	471,042	477,469
営業利益	129,807	133,896
営業外収益		
受取利息	148	79
その他	113	578
営業外収益合計	262	657
営業外費用		
支払利息	485	277
営業外費用合計	485	277
経常利益	129,583	134,275
税引前四半期純利益	129,583	134,275
法人税、住民税及び事業税	9,094	15,545
法人税等調整額	38,910	39,087
法人税等合計	48,004	54,633
四半期純利益	81,579	79,642

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	711,704	675,034
減価償却費	27,073	32,441
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,000	10,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	45,646
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39,400	△34,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,500	—
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,841	△13,308
受取利息及び受取配当金	△4,211	△2,749
支払利息	2,036	1,147
固定資産除却損	—	57
売上債権の増減額 (△は増加)	832,111	1,276,278
たな卸資産の増減額 (△は増加)	49,198	△262,428
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,035,574	△653,178
その他の資産の増減額 (△は増加)	1,759	△7,867
その他の負債の増減額 (△は減少)	57,933	△79,885
小計	596,974	987,686
利息及び配当金の受取額	4,211	2,749
利息の支払額	△2,036	△1,147
法人税等の支払額	△560,242	△420,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,905	568,838
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△83,034	△81,909
有形固定資産の取得による支出	△132,487	△9,670
無形固定資産の取得による支出	△5,400	△1,000
差入保証金の差入による支出	△3,834	△3,653
差入保証金の回収による収入	1,618	904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△223,138	△95,328
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△38,400	△38,400
配当金の支払額	△235,751	△222,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,151	△260,405
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△458,384	213,103
現金及び現金同等物の期首残高	2,178,768	2,282,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,720,383	2,495,887

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績を単一セグメント内の品目別に示すと、次のとおりであります。

単一セグメント内品目別	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	前年同四半期比 (%)
採血管準備装置(千円)	1,747,882	20.3
検体検査装置(千円)	776,860	59.9
消耗品等(千円)	2,474,146	6.1
その他(千円)	155,605	△38.5
合計(千円)	5,154,494	14.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、事業区分が単一セグメントであり、セグメント情報の区分を変更していないため対前年同四半期比を記載しております。

(2) 受注状況

見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績を単一セグメント内の品目別に示すと、次のとおりであります。

単一セグメント内品目別	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	前年同四半期比 (%)
採血管準備装置(千円)	1,672,661	13.0
検体検査装置(千円)	383,351	△27.2
消耗品等(千円)	2,433,246	5.4
その他(千円)	163,419	△5.2
合計(千円)	4,652,680	3.7

(注) 1. 前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間の主要な輸出先及び輸出販売高及び割合は、次のとおりであります。なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
ヨーロッパ	104,999	18.0	84,593	16.5
中南米	277,204	47.6	139,395	27.2
アジア	193,887	33.3	270,658	52.8
その他	6,475	1.1	17,535	3.4
合計	582,567 (13.0%)	100.0	512,183 (11.0%)	100.0

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。